

2018 年度地域情報研究所報告会

現代の地域と社会科学の役割

— 現代地域科学の確立へ向けて —

3/20

Wed.

13:30~17:15

OIC B棟 2階 B275, B276 にて

13:15
13:30-13:40
13:40-14:40

14:40-15:10
15:10-16:00
16:00-17:00

17:00
17:30

受付

開会

地域情報研究所報告

1. アジア・プロジェクト
2. 北摂プロジェクト
3. 都市政策プロジェクト

茨木市役所による政策報告

ポスターセッション

意見交換

1. 各プロジェクトの省察と今後の方向性
2. 茨木市との実践的取組
3. 地域情報研究所の今後のあり方

閉会

懇親会 (学内レストラン・キャンピングキッチンにて)

参加費・懇親会費 無料

参加ご希望の方は、3月4日(月)までに
氏名、所属、懇親会参加有無をご連絡ください。

※参加対象者：立命館大学教職員・院生学生、茨木市役所

参加登録・お問い合わせ：

立命館大学 OICリサーチオフィス (大浦)

Tel : 072-665-2570

Email: rdiri@st.ritsumeit.ac.jp

共催：立命館大学 地域情報研究所

立命館大学 OIC 地域連携課



2018 年度地域情報研究所報告会

現代の地域と社会科学の役割：現代地域科学の確立へ向けて

地域科学の構築は現代社会科学の中心的テーマです。グローバル化による市場のボーダレス化と国民国家の後退は、私たちの暮らしを不安定化しています。さらに先進国は人口減少・高齢時代に突入し、その後をアジア各国がそれ以上のスピードで追ってきます。

こうした中で、「誰もが幸福に生きる」ための社会のあり方が焦眉の課題となっています。そのためのキー概念こそ「地域」に他なりません。地域の共同社会条件の再構築こそが現代社会科学の重大なテーマとなっています。それは人々の暮らしや自治体・企業等の実践との「対話」の中から生み出されるべき性格を持つものです。

現代地域科学の構築を使命としてきた地域情報研究所は、この数年間3つのプロジェクトとして「アジア・フューチャー・プロジェクト」(アジア・プロジェクト)、「北摂地域における社会文化資源の再発見と発信に関する学際的研究」(北摂プロジェクト)、「人口転換期における日本とアジアの都市政策研究プロジェクト」(都市政策プロジェクト)に分かれて独自の研究を積み重ねてきました。今後はこれらのプロジェクトの成果を総合し、地域との対話を重ねることで、新たなステージへとステップアップしなければなりません。

本報告会では各プロジェクトでの取組報告や茨木市の政策報告、若手研究者らによるポスター発表を行い、それらを基にして地域情報研究所、地域連携課、茨木市役所の三者を中心に、今後の地域情報研究所や官学連携のあり方について様々な角度から議論したいと考えています。

Speakers



足立 友司
茨木市
企画財政部 財政課長



森本 純也
茨木市
企画財政部 政策企画課 課長代理



森 裕之
地域情報研究所
都市政策プロジェクト所属
政策科学部 教授



上久保 誠人
地域情報研究所
アジア・プロジェクトリーダー
政策科学部 教授



佐伯 靖雄
地域情報研究所
北摂プロジェクト所属
経営管理研究科 准教授

